



SE13 低軌道衛星向けの地上局運用エンジニア

スカパーJSAT株式会社での募集です。 ネットワークエンジニア（運用・保守系）...

募集職種

人材紹介会社

株式会社ジェイ エイ シー リクルートメント

採用企業名

スカパーJSAT株式会社

求人ID

1592210

業種

通信・キャリア

雇用形態

正社員

勤務地

神奈川県

給与

600万円～900万円

勤務時間

09:30～17:30

休日・休暇

【有給休暇】有給休暇は入社時から付与されます 4月～9月までは入社日より10日付与となりますが、10月入社から減算される形とな...

更新日

2026年05月14日 15:59

応募必要条件

キャリアレベル

中途経験者レベル

英語レベル

流暢

日本語レベル

ネイティブ

最終学歴

高等学校卒

現在のビザ

日本での就労許可が必要です

募集要項

【求人No NJB2318704】

【業務概要】

低軌道衛星をはじめとする非静止衛星を利用した自社サービスに関する技術的な検討や営業支援、顧客対応および運用業務などの運営管理全般

【仕事内容】

ARCSならびに低軌道衛星をはじめとする非静止衛星を利用した自社サービスにおける以下の対応。

- ・システムの構築・試験、運用準備
- ・技術的な営業支援、技術提案、検証作業や試験

- ・実運用に関わるオペレータの運用支援や教育指導ならびに運用で必要となるドキュメント整備やシステム、ツール、ソフト、ハードの設計・構築または開発
- ・システムの保守維持管理
- ・運用品質・業務効率向上に向けた施策検討・導入
- ・お客様からの技術もしくは運用に関する問合せ

【期待する役割】

入社当初は、スカパーJSATが構築を進めているARCSシステム（低軌道衛星向けの地上局と地上局管理システム）を顧客（衛星所有者、衛星運用者）へ提供するための各種エンジニアリング業務やその他の低軌道衛星をはじめとする非静止衛星を利用した自社サービスに関する技術的な検討や営業支援および運用業務などの運営管理や顧客対応を副担当として他メンバーと協力して業務に従事いただきます。そして、担当する業務の理解が深まり、業務遂行にも慣れてきましたら、いくつかの業務について主担当として他メンバーとともに業務を推進いただきます。サービス提供者としての誇りや責任感と熱意をもって業務に取り組み、当社サービスの安定運用と事業の更なる発展へ寄与いただくことを期待します。

スキル・資格

【必須要件】

<条件>

- ・在宅勤務ではなく出社勤務を基本として仕事ができること
- ・横浜衛星管制センターまでの通勤時間が2時間以内であること（交通手段問わず）
- ・担当業務の進捗や急ぎの顧客対応および定期メンテナンス等にて、時折発生する土日祝祭日や夜間帯勤務へ柔軟に対応できること
- ・出張対応可能であること（国内外問わず）
- ・経験を積んだのちに当日就業終了時刻から翌就業開始時刻までの間、及び土日祝日におけるオンコール対応が可能であること（毎月10日程度発生）

<業務経験>

- ・非静止衛星や静止衛星の衛星管制に関する運用や技術経験者
- もしくは、
- ・非静止衛星や静止衛星を用いたサービスの運用経験者

【歓迎要件】

以下のスキルや資格の保有

- ・無線通信に関する資格（電気通信主任技術者、第一級または第二級陸上無線技術士等）
- ・プロジェクト管理能力
- ・英語（海外メーカ・パートナー企業との技術的なやり取りを実施できるレベル）

【求める人物像】

- ・宇宙業界に関心を持ち、サービス提供者としての誇りや責任感と熱意をもって業務に取り組む方
- ・社内外の個人や企業と協調し、多様性を理解しながら仕事を進められる方
- ・指示待ちではなく、自ら考えて行動できる方

会社説明

■メディア事業：デジタル放送を運営するプラットフォーム事業者として、有料多チャンネル放送サービス「スカパー！」を運営※2021年現在、加入者数310万人■宇宙事業：日本全国はもちろんアジア全域・オセアニア・ロシア・中東・ハワイ・北米をカバーし衛星通信サービスを提供しています。衛星通信ネットワークは災害時にも途絶することがないため、全国の自治体や電気・ガス・石油などライフラインを支える多くの企業に防災・危機管理の通信インフラとして導入されるなど、暮らしの安心・安全を支えています。高品質のデジタル映像をリアルタイムで一斉配信できる衛星通信は、教育・医療・ビジネスなど幅広い分野でも活躍しており、山間部や離島、飛行機・船舶といった移動体などの地上回線での対応が難しい領域でも衛星通信は重要な存在となっています。今後、先端技術や新しいアイデアをもつ国内外のパートナーと組み、低軌道衛星ビジネス、衛星画像サービス、情報分析サービスなどの幅広い宇宙ビジネス領域も拡大していきます。

※2020年現在、衛星保有数 19機